

令和7年度 土木学会全国大会 in 熊本

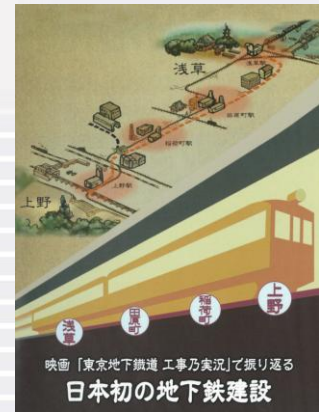
土木学会土木技術映像委員会主催

# 映画会

土木技術映像委員会では、年次学術講演会期間中に映画会を開催いたします。

これまでに収集・選定した約800本の記録映像の中から地震や豪雨災害をはじめ災害復旧工事の記録、国土の発展に寄与した土木が果たす役割を伝える多くの技術映像を上映いたします。

申込み不要  
入場自由



9/11(木)・9/12(金)  
熊本大学黒髪北キャンパス C301号室

## 9/11(木) 上映作品

「石を架ける-石橋文化を築いた人びと-」  
「海峡をつないだ技術-関門鉄道トンネル開通までの歩み-」  
「【喜連瓜破 橋梁架け替え工事】二年半の軌跡  
～100年先を見据えて～工事担当者の想いに迫る!」  
「富士山を測る」  
「アフガニスタン 用水路が運ぶ恵みと平和 (技術編)」  
「令和のリニューアル 北陸自動車道 米山トンネルのインバート補強」  
「つなぐ～三角大矢野道路「天城橋」建設の記録」  
「日本初の地下鉄建設」

## 9/12(金) 上映作品

「人々の暮らしを取り戻す 精鋭たちの総力戦  
2016-2021 熊本県南阿蘇村-技術者たちの闘い」  
「青函トンネル」  
「復興の道しるべ-三陸鉄道北リアス線震災復旧工事」  
「石橋のふるさと-肥後の石工を訪ねて」  
「阪神・淡路大震災による道路の被災と復旧」  
「余部鉄橋の記憶 永久保存版」  
「日本の近代土木を築いた人びと」  
「繋げる～赤い鉄橋を蘇らせた工事の記録～」

詳細は上映スケジュールをご覧ください。



# 令和7年度 土木学会全国大会 映 画 会

## ● 映 画 会 ・ 上映スケジュール ●

9 / 11 (木) ・ 9 / 12 (金)  
熊本大学黒髪北キャンパス C301号室

申込不要・入場無料・入退室自由です。  
作品の上映開始時刻は多少前後することがあります。予めご了承ください。

| 作品<br>No | 上映日         | 上映<br>開始<br>予定 | 上映時間<br>(分) | 上 映 作 品                                          |                                                                                                                                                                                                                                               | 制作年  |
|----------|-------------|----------------|-------------|--------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| —        |             | 10:00          |             | 開会のご挨拶 土木技術映像委員会                                 |                                                                                                                                                                                                                                               |      |
| 1        | 9/11<br>(木) | 10:05          | 39          | 石を架ける<br>—石橋文化を築いた人びと—                           | 日本の代表的な石橋を架けたのは肥後の石工、なかでも江戸末期、種山村（現熊本県八代市）に生まれた「種山石工」の人たちでした。今も九州を中心に残る様々な石橋を訪ね、その歴史や誕生のエピソード、人々が橋に託した夢、橋が地域生活に与えた影響、完成された構造美などを描きながら、文化遺産、土木遺産としての石橋の価値を強く訴える作品です。                                                                           | 1996 |
| 2        |             | 10:44          | 34          | 海峡をつないだ技術<br>—関門鉄道トンネル開通までの歩み—                   | 関門鉄道トンネルは、当時の日本土木技術の総力を結集した金字塔でした。工事は1936年に着工され、1942年に下り線、1944年に上り線が開通しました。下関と門司を鉄道でつなぐため、事実上・商業上の理由から、当時の土木技術にとっては全くの未知の領域である世界初の海底トンネルが採用されました。この作品は、計画から開通までの歩みを、当時の映像や経験談を織り交ぜながら紹介しています。                                                 | 2003 |
| 3        |             | 11:18          | 37          | 【喜連瓜破 橋梁架け替え工事】二年半の軌跡 ～100 年先を見据えて～ 工事担当者の想いに迫る！ | 阪神高速では、2022年6月より14号松原線（喜連瓜破～三宅JCT）を終日通行止めの上、橋梁架替工事を実施しました。都市高速を長期間に渡って通行止めにするという前代未聞の工事の上、工事区間の直下には大阪市内でも有数の重交通を担う交差点があり、かつ周辺地域は密集市街地となっています。制約条件の多い中、既設コンクリート橋桁の撤去及び鋼製橋桁の架設までを無事完了させ、2024年12月7日に約2年半ぶりに通行を再開した。本動画は、工事着手前から通行再開までの事業の記録映像です。 | 2025 |
| 4        |             | 11:55          | 25          | 富士山を測る                                           | 江戸時代から現代まで、測量技術の進歩とともに精度の高い値に書き替えられてきましたが、これらは山麓から間接的に測った値でした。1993年夏、初めて山頂までの徒歩による直接水準測量と、人工衛星を利用したGPS測量とで富士山の高さが検証されました。その50日間に及ぶ測量の様子と人々の姿を追う作品です。                                                                                          | 1994 |
| 5        |             | 12:50          | 35          | アフガニスタン<br>用水路が運ぶ恵みと平和（技術編）                      | アフガニスタンにおける用水路の技術的側面とその重要性について詳しく解説しています。アフガニスタンの農業と生活において、用水路は欠かせない存在であり、その設計と建設方法、維持管理の技術が地域社会に与える影響を探っています。                                                                                                                                | 2016 |
| 6        |             | 13:25          | 21          | 令和のリニューアル 北陸自動車道 米山トンネルのインバート補強                  | 北陸自動車道の米山トンネル下り線は建設以来、盤ぶくれによる路盤の変状が進行していました。本作品は、令和3～4年度に行ったインバート補強による補強対策工事の記録を映像としてまとめたものです。                                                                                                                                                | 2022 |
| 7        |             | 13:46          | 36          | つなぐ～三角大矢野道路「天城橋」建設の記録                            | 地域高規格道路「熊本天草幹線道路」の一部を構成し、熊本県上天草市と宇城市をつなぐ「天城（てんじょう）橋」は、平成30年5月20日に開通、橋長463m、アーチ支間長350m、アーチ橋としては国内2位、ソリッドリブ形式のアーチ橋としては国内で1番の長さ誇る長大橋です。当記録映像は、平成26年秋から始まった橋梁本体の架設工事の様子を、平成30年5月の供用開始まで捉えたものです。                                                   | 2018 |
| 8        |             | 14:22          | 32          | 日本初の地下鉄建設                                        | 東京に地下鉄を造る…その夢を実現するため、多くの土木技術者が「一致協力」して完成（昭和2年（1927年）12月30日開業）した日本初の地下鉄。その第1歩は、今の東京メトロ銀座線、上野～浅草間2.2キロの建設から始まりました。この作品は、当時の建設工事を記録した貴重な無声映画、「東京地下鐵道工事乃実況」をデジタルリマスターし、工法の解説や、建設に携わった技術者の紹介を盛り込んだ建設記録映像で、一般の方にも親しみやすい内容となっています。                   | 2017 |
| —        |             | 15:00          |             | 1日目 終了                                           |                                                                                                                                                                                                                                               |      |

| 作品<br>No | 上映日         | 上映<br>開始<br>時間 | 上映時間<br>(分) | 上 映 作 品                                         |                                                                                                                                                                                                                                                              | 制作年  |
|----------|-------------|----------------|-------------|-------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1        | 9/12<br>(金) | 10:00          | 17          | 人々の暮らしを取り戻す 精鋭たちの総力戦 2016—2021 熊本県南阿蘇村—技術者たちの闘い | 平成28年（2016年）に発生した熊本地震。最大震度7を記録し甚大な被害をもたらしました。本作品は阿蘇大橋付近で発生した大規模な斜面崩落からの復旧や復興のシンボルでもある「新阿蘇大橋」開通に向けて立ち向かう土木技術者達の記録です。震災直後から現地に入り、余震の不安の中で応急調査、その後、限られた時間のなかで、技術者を結集し、地盤調査設計、橋梁設計を完了させました。その力の根源は、「人々の暮らしを守る」という技術者の「使命感」でした。国民の暮らしを守るという使命感を持った技術者達の挑戦を描いています。 | 2025 |
| 2        |             | 10:17          | 37          | 青函トンネル                                          | 青函トンネルの歴史と、そのトンネルがいかにして掘られたか、その調査・工事の全工程を多くの現場でのフィルムの中から編集し編集編の形で紹介した記録映画です。                                                                                                                                                                                 | 1985 |
| 3        |             | 10:54          | 44          | 復興の道しるべ 三陸鉄道北リアス線震災復旧工事                         | 東日本大震災で甚大な被害を受けた三陸鉄道北リアス線の日も早い復旧に向けて想いをつなぎ、「目に見える復興のシンボル」となるGRS一体橋梁を完成させ、北リアス線全線再開を通じ、被災された三陸沿岸の人々を力づけた奮闘の記録です。                                                                                                                                              | 2018 |
| 4        |             | 11:38          | 16          | 石橋のふるさと一肥後の石工を訪ねて                               | 第25回日本産業映画ビデオコンクール観光部門最優秀賞受賞作品 肥後の石工が手掛けた熊本県内の石橋の紹介と歴史に触れ、木橋に代わり石橋が掛けられた理由や支保工、水切りなどの工法を紹介しています。また石工集団の歴史と明治維新後の活躍、架橋のスポンサーでもある惣庄屋についても触れています。                                                                                                               | 1988 |
| 5        |             | 11:54          | 20          | 阪神・淡路大震災による道路の被災と復旧                             | 1995年1月17日5時46分に日本を襲った巨大地震は家屋の倒壊約20万棟、死者5502人と戦後最悪の被害と悲しい爪痕を残しました。本作品は、受け継がれる巨大地震の爪痕、先人たちの知恵と教訓をとりあげ、巨大地震への備えの重要性を描いています。単に備えるといったことではなく、例示することで理解が深まる内容となっており、学校教育現場・地方自治体関係者にも見て頂きたい内容となっています。                                                             | 1995 |
| 6        |             | 12:45          | 41          | 余部鉄橋の記憶 永久保存版                                   | およそ100年もの間日本海の厳しい風雪に耐え、多くの人たちに支えられてきた鉄橋の歴史を主軸に、そこに展開された人間ドラマや四季折々の美しい映像を織り交ぜながら、余部鉄橋の有終の美を貴重な土木遺産として記録・表現した作品です。                                                                                                                                             | 2007 |
| 7        |             | 13:26          | 58          | 日本の近代土木を築いた人びと                                  | 近代土木の黎明時に国土開発の発点となった土木技術の自立に挑んだ5人の若き技術者を紹介した作品です。（鉄道の井上、琵琶湖疏水工事の田辺朔郎、総合土木の古市公威、河川の沖野忠雄、港湾の廣井勇）                                                                                                                                                               | 2002 |
| 8        |             | 14:24          | 25          | 繋げる<br>～赤い鉄橋を蘇らせた工事の記録～                         | 2019年10月、台風19号の被害を受け上田電鉄別所線の千曲川橋梁が落橋しました。532日の月日をかけ、鉄橋を蘇らせた工事の記録です。土木技術者の果たすべき役割や存在価値を再認識し、自然と対峙しながら復旧を行う建設の魅力を伝える作品です。                                                                                                                                      | 2022 |
| —        |             | 14:49          |             | 開会のご挨拶 土木技術映像委員会                                |                                                                                                                                                                                                                                                              |      |
| —        |             | 15:00          |             | 2日目 終了                                          |                                                                                                                                                                                                                                                              |      |